

公開講演会

Христианская традиция и ее трансформации в русской литературе: НОВАЯ КОНЦЕПЦИЯ

キリスト教の伝統とロシア文学におけるその変容: 新たな概念

〈問い合わせ先〉

京都大学文学研究科

スラブ語学スラブ文学専修

075-753-2781(直通)

nakamura.tadashi.6r@kyoto-u.ac.jp

主催：日本学術振興会科研費基盤(B)「近代ロシア文化の《自叙》

の研究」(課題番号26284044)

共催：平成27年度国立大学改革強化推進補助金(特定支援型)プロジェクト「今、ロシア文学を考える」



講師紹介

イヴァン・アンドレーヴィチ・エサウーロフ
(Иван Андреевич Есаулов)先生

ゴーリキー文学大学教授。文学博士。キリスト教的観点からロシア文学を理論的・歴史的に研究。「復活性 Пасхальность」, «総体性 Соборность», «キリスト中心主義 Христоцентризм」などのカテゴリーを用いて、古代ロシア文学からソ連文学まで幅広く論じている。最近の著作は「Постсоветские мифологии (ポストソヴィエト時代の神話学)»(2015)。著書の多くは個人サイトに掲載され、自由に読むことができる(<http://esaulov.net/>)。

2016年 3月13日(日)14:30-17:00

京都大学文学研究科(文学部校舎) 2階
第2演習室

聴講無料・予約不要

講演とその後の討論はロシア語で行われます

